

受講  
受付中

講義

ワーク  
ショップ



# デザインで これからの医療の未来を描く

本学は 10 年前から、附属病院をはじめとする近隣の医療機関と芸術系の教員や学生が連携し、アートやデザインによる医療環境の改善に取り組んでまいりました。本講座では、医療やヘルスケアを取り巻く課題に取り組むための足がかりになるように、医療とデザインに関する実践・研究者による講義、デザイン思考やアイディエーションの手法を学ぶ演習をおこないます。医療従事者は、自分たちの視点だけでは解決が難しい課題に対する方略について、医療とデザインに関心がある非医療従事者は、普段は知ることができない医療現場の課題について学ぶことができます。

## 私たちと未来を 描きましょう！

感覚多様性をふまえたセンサリーデザイン

センサリー  
デザイン



**小山慎一**  
筑波大学芸術系 教授  
心理学・脳科学をデザインに応用することによって、多様な感覚をもつ人々が互いに理解しあい、今まで以上に能力を発揮できる社会を作ることを目指している。  
<https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/koyamab/>



看護とデザインエンジニアリング

デザイン  
エンジニアリング



**吉岡純希**  
NODEMEDICAL 代表取締役社長、慶應義塾大学 SFC 研究所上席所属、看護師  
集中治療室や在宅での看護師の臨床経験をもとに、テクノロジーの医療現場への応用に取り組む。病院でのデジタルアート「Digital Hospital Art」をスタート。慶應義塾大学 SFC にて「FabNurse プロジェクト」に参画。2018 年より、研究の実践を社会に実装するため、株式会社 NODE MEDICAL を設立。  
<https://nodemedical.co.jp/>



## 医療 × デザイン

空間デザイン

協働による医療環境のデザイン



**岩田祐梨**  
チア・アート理事長  
筑波大学芸術系 研究員  
筑波大学附属病院をはじめとする医療福祉施設と連携し、アート&デザインプロジェクトの実践、研究、普及に取り組む。2017 年、筑波大学芸術系の教員らと特定非営利活動法人チア・アートを設立。専門は、協働・共創による医療福祉環境のデザイン。 <https://www.cheerart.jp/>



ビジュアル  
コミュニケーション  
デザイン

医療におけるビジュアルコミュニケーションデザイン



**桑畑 健**  
日本医療デザインセンター代表理事



筑波大学 芸術専門学群 視覚伝達デザイン専攻卒業。2018 年 2 月に一般社団法人日本医療デザインセンターを設立し代表理事に就任。「医療デザイン」をテーマにソーシャルグッドプロデューサー、医療デザイナーとしてクリエイティブワークを展開中。  
<https://mdc-japan.org/>

筑波大学におけるバイオデザインメソッドを用いた医療機器開発の取り組み

バイオ  
デザイン



**野口裕史**  
筑波大学附属病院整形外科、病院講師 (T-CReDo)



現役整形外科医でもあり、脊椎脊髄病学会指導医や医療機器の研究開発に関わり、現職にて橋渡し、Stanford Biodesign Global faculty in training program を修了し、国内で Global faculty として活躍。  
[https://www.yokohama-cu.ac.jp/amedrc/news/202008cdc\\_book.html](https://www.yokohama-cu.ac.jp/amedrc/news/202008cdc_book.html)

※カリキュラムは裏面をご参照ください

開催日：2022 年 5 月 15 日～7 月 10 日 (全 5 回)

開催方法：オンライン開催 (ZOOM 使用) オンライン演習 (グループワーク) あり  
※パソコンでの参加が必須になります

受講対象：医療従事者、福祉施設の職員、医療とデザインに関心がある方  
※応募者多数の場合は、医療従事者を優先

受講人数：30 名 (最小開講人数 10 名)

受講費用：32,000 円 (税込)

### こんな人におすすめです

- 医療現場の改善のアイデアはあるのに、具体化できない
- 医療環境を改善すべきなのに、何をすればいいかわからない
- 医療現場のニーズを学びたいが、どうすればいいかわからない

主催：国立大学法人 筑波大学  
協賛：特定非営利活動法人 チア・アート  
一般社団法人 日本医療デザインセンター

事務局：筑波大学エクステンションプログラム事務局  
※本プログラムの協賛とは広報支援 (関係企業へのチラシ配布及びダイレクトメール送信)

[デザインでこれからの医療の未来を描く]

お申し込み HP・お問い合わせはメールにて

[ep-sanren@un.tsukuba.ac.jp](mailto:ep-sanren@un.tsukuba.ac.jp)

<http://extension.sec.tsukuba.ac.jp>

